

# CHUBU集合郵便受箱

## 取扱説明書

この度は、CHUBU メールボックスをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前に、この取扱説明書をお読みいただき、ご理解の上、末永くご愛用ください。お読みになった後は紛失されませんよう保管してください。

### 取扱について



- 扉や本体にぶら下がらないで下さい。扉や本体にぶら下がったりすると、扉や本体が変形したり、破損することがあり、思わぬ怪我をすることがあります。特に子供の遊びにご注意ください。
- 扉は開け放しにしないで下さい。扉を開けたままにすると、扉が歩行者に当たって危険です。郵便物を取り出した後は、必ず扉を閉め施錠してください。
- 多量の郵便物は一度に取り出さないで下さい。多量の郵便物を両手で一度に取り出そうとすると、無理な力が手や扉にかかって、思わぬ怪我をしたり、故障の原因になります。



- 扉を閉める時は静かに閉めてください。乱暴に閉めると、音が周辺に響き迷惑になります。また、鍵の故障の原因にもなります。
- 郵便物を取り出した後は必ず施錠してください。郵便物の盗難やいたずら防止のために、必ず施錠してください。特に台風・強風時には施錠をご確認ください。
- 貴重品・重要書類・危険物・生物等の保管はしないで下さい。一般の郵便物の受箱として設計されていますので、貴重品類の受取りや保管には適しておりません。お部屋やお車等の鍵も入れないで下さい。意図的な盗難やいたずらに対応できません。
- すみやかに郵便物を取り出してください。郵便物がたまり、詰め込みすぎると、鍵が開かなくなったり、投入口フタの破損や作動異常の原因となります。
- 郵便受箱の上に物を置かないで下さい。箱が変形して扉の開閉作動が出来ないことがあります。

### 維持管理について



- お手入れされる際は必ずゴム手袋等を着用してください。板金製ですので手を切る恐れがあります。



- 定期的にお手入れをしてください。ステンレスはお手入れをおこたり汚れを放置すると、もらい錆をおこします。

## お手入れ方法



## 注意

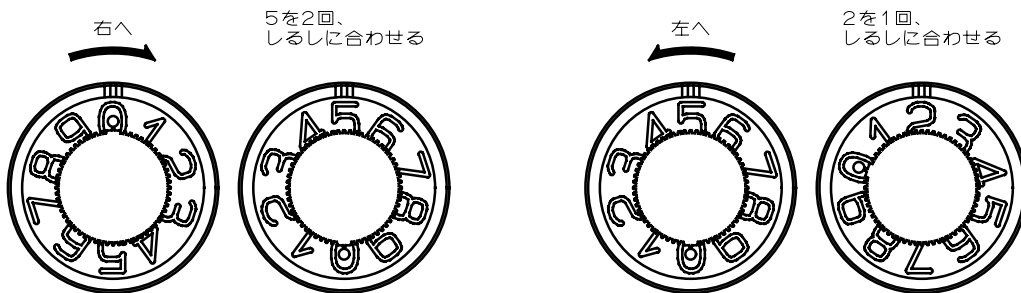
- やわらかい布でから拭きしてください。
- 汚れのひどい場合は、中性洗剤を薄めた液を含ませた布で拭いた後、水拭きしてください。水分は完全に拭き取ってください。
- シンナー・ベンジン・みがき粉・タワシ等を使って清掃することは避けてください。変色・キズ・塗装ハクリの原因になります。

## ネームプレートの交換方法

- 外し方  
ネームカバーの上あるいは右側に隙間がありますので、その隙間から透明の板とネームプレートをスライドさせながら抜き取ります。
- 入れ方  
透明の板とネームプレートを重ねて(このとき透明の板が手前です)ネームカバーの隙間にスライドさせて入れます。

## 鍵の使用法

- 開錠  
ダイヤルを右へ回して、数字を2回しるしに合わせます。その状態のままで、次に左へ回して数字をしるしに合わせれば開錠できます。(開錠番号シールをご確認ください)  
例) 開錠番号が5・2の場合



- 施錠  
扉を閉めた後、ダイヤルを左右どちらかに1回転以上回してください。  
\*開錠番号シールを郵便受箱から必ず取り出し保管してください。1枚は管理者様用です。

株式会社 中部コーポレーション

いなべ工場 〒511-0411 三重県いなべ市北勢町大字京ヶ野新田字下周囲 611

TEL 0594-72-7175(代表) FAX 0594-72-6637

仙台出張所	TEL 022-275-7811(代)	FAX 022-275-7821
東京営業所	TEL 03-3633-9966(代)	FAX 03-3633-9931
中部営業所	TEL 0594-32-1154(代)	FAX 0594-32-7730
大阪営業所	TEL 06-6788-2533(代)	FAX 06-6787-3102
神戸営業所	TEL 078-531-8383(代)	FAX 078-531-6116
広島営業所	TEL 082-263-2512(代)	FAX 082-263-2639
四国出張所	TEL 087-881-5721(代)	FAX 087-881-5730
福岡営業所	TEL 092-474-1201(代)	FAX 092-472-2208

# CHUBU 集合郵便受箱

## 取付説明書

### 取付について



### 警告

\* 取付工事には手袋を着用してください。板金製ですので手を切る恐れがあります。



### 注意

\* 極端に高い所や低い所、あるいは扉の開閉スペースが確保出来ない場所に設置しないで下さい。郵便物の出し入れに支障がでます。

\* 雨水のかかる場所に設置しないで下さい。屋内専用の郵便受箱ですので、防水機能が備わっておりません。

\* ビス類の締め忘れにご注意下さい。

\* 製品取付後に内外装工事を行う場合は必ず十分な養生をして下さい。工事によるホコリなどが、錠の作動異常の原因になったり、ステンレスに付着したまま放置しておく、もらい錆が発生する場合があります。

\* 郵便受箱をコンクリートへ直打込みしないで下さい。コンクリートの膨張に耐えられず、製品が歪み扉の開閉に支障がでます。

### 取付方法（壁貫通：ME1R・ME2R・ME3R）

- ①郵便受箱を水平に取付ける為に壁面開口の底面をモルタルで仕上るか鋼材等を置いて水平を出しておきます。
- ②下段の郵便受箱を壁面開口の底面にタッピンネジ等で固定します。
- ③左右上下に隣接する本体の穴を付属のナイロンリベットで固定します。
- ④組み上がった郵便受箱の上部に軽量形鋼等をタッピンネジで固定し、躯体に溶接止めします。
- ⑤扉の開閉に支障がないことを確認した後、外周の郵便受箱の組立穴をテープ等で塞ぎ、モルタルを充填して固定します。外周の表面はコーキングで仕上げて下さい。

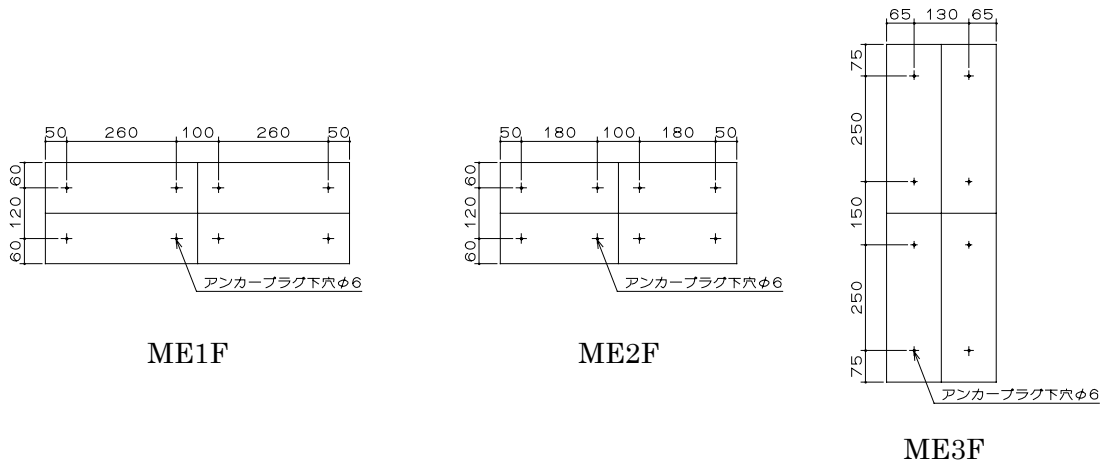
### 取付方法（壁付け：ME1F・ME2F・ME3F）

- ①取付面に裏面図の寸法に従って、アンカー用の下穴(下穴径φ6mm・下穴深さ32mm)を開けます。
- ②下穴へ付属のアンカーを装填します。
- ③最下段より郵便受箱の扉を開け、本体の内側より付属のネジをアンカーにねじ込み固定します。
- ④左右に隣接する本体の穴を付属のナイロンリベットで固定します。
- ⑤最下段の取付が終わったら、次の段も③④の作業を繰り返し固定します。
- ⑥上下の連結も隣接する本体の穴を付属のナイロンリベットで固定します。

## 取付方法（壁埋込：ME1F・ME2F・ME3F）

- ①郵便受箱を水平に取付ける為に壁面凹部の底面をモルタルで仕上るか鋼材等を置いて水平を出しておきます。
- ②取付面に下図の寸法に従って、アンカー用の下穴(下穴径φ6mm・下穴深さ32mm)を開けます。
- ③下穴へ付属のアンカーを装填します。
- ④下段の郵便受箱を壁面凹部の底面にタッピンネジ等で固定します。
- ⑤最下段より郵便受箱の扉を開け、本体の内側より付属のネジをアンカーにねじ込み固定してます。
- ⑥左右上下に隣接する本体の穴を付属のナイロンリベットで固定します。
- ⑦組み上がった郵便受箱の上部に軽量形鋼等をタッピンネジで固定し、躯体に溶接止めします。
- ⑧扉の開閉に支障がないことを確認した後、外周の郵便受箱の組立穴をテープ等で塞ぎ、モルタルを充填して固定します。外周の表面はコーキング材で仕上げてください。

## ME1F・ME2F・ME3F 壁面取付寸法



## 施工図例

